

どうやってまちづくりをすすめるの？

【まちづくり実施方針】

- まちづくりと連携して、**鉄道の連続立体交差化を図ります。**
- まちづくりは、市の体力を踏まえながら**段階的に実施します。**
- 徳重・名古屋芸大駅周辺から整備を進めます。**

【整備順序】

| | |
|---------------|--|
| 徳重・名古屋芸大駅周辺整備 | |
| 西春駅周辺整備 | |
| 環境軸整備 | |
| 鉄道の連続立体交差事業 | |



具体的にこれからなにをするの？

- まちづくり協議会等を立ち上げ、**地元のみなさまと一緒に検討**を進めます。
- 関係機関と協議調整を行い、それぞれの事業の**都市計画決定に向けた検討**を進めます。
- 特に土地区画整理事業については、国からの補助金などを活用しながら具体的な施行範囲などについて**測量・設計**を進めます。



まちづくりについてご意見等ありましたらお気軽にご連絡ください。

【問い合わせ】北名古屋市役所 建設部 都市整備課 (西庁舎 2階)
Tel/0568-22-1111 Fax/0568-25-5533
E-mail/toshi@city.kitanagoya.lg.jp

この資料は次の説明会にて配布したものです。
平成27年10月23日(金) 19:00~20:00 文化勤労会館
平成27年10月24日(土) 10:00~11:00 東図書館

本資料は、市役所窓口及び市のホームページでも公開します。

北名古屋市鉄道周辺 まちづくり説明会



～鉄道の高架化を見据えたコンパクトなまちづくり～



北名古屋市鉄道周辺まちづくりって何のこと？

北名古屋市の将来のあるべき姿である、
「健康快適都市」～誰もが安全・安心に暮らせるまち～
を実現するために**一体感のあるコンパクトな都市**をつくります。
そのうち、北名古屋市鉄道周辺まちづくりでは、以下のことを行います。



- 名鉄犬山線の徳重・名古屋芸大駅と西春駅の周辺を**市の拠点として整備**します。
- 鉄道沿線には側道や緑地といった**環境軸を整備**します。
- 一体感**のあるコンパクトなまちをつくるため、ハード整備だけではなく**ソフト対策**も同時に行います。

これまで何をしてきたの？

平成18年に北名古屋市が誕生してから、鉄道周辺に関連して以下の事業やまちづくりのための検討を行ってきました。

■徳重・名古屋芸大駅周辺

平成18年度：まちづくり研究会
平成20年度：まちづくり委員会
平成21～23年度：まちづくり勉強会を開催し、徳重・名古屋芸大駅周辺の将来像について検討しました。

■西春駅周辺

西春駅西土地区画整理事業(～平成28年度)駅の西側に駅前広場、公会堂などの整備を行いました。

■連続立体交差事業

平成23年度より愛知県を中心として、連続立体交差事業の測量・調査を行っています。

■鉄道周辺まちづくり

平成24年度には、鉄道周辺まちづくり構想策定委員会を開催し、「鉄道周辺まちづくり構想」を策定しました。構想に関するパンフレットを市民の皆様にご覧いただきました。



鉄道周辺にはどんなまちの問題があるの？

【鉄道周辺の主な問題点】

■都市機能の集積の遅れ

公共施設などが市内全域に散らばり、利便性が低くなっています。また、徳重・名古屋芸大駅周辺には、人が集まれる施設がありません。

■市街地における土地の低・未利用

駅周辺の利便性の高い地域でも、空き地があります。また、土地の形状が悪く、上手く利用できていない土地も見受けられます。



■賑わいの低下

昔ながらの商店街を形成している岩倉街道の沿道や幹線道路沿いでは、シャッターを下ろしたままの店舗も多く、賑わいが失われ、まちの魅力が低下しています。

■駅の交通結節機能の不足

徳重・名古屋芸大駅は、駅前広場が整備されていないため、送迎用の駐車スペースや人々が滞留する場所が少なく、たいへん不便な状況となっています。

■踏切遮断による交通渋滞

踏切が閉まっている時間が長く、交通量も多いため、交通渋滞が発生しています。



■自転車・歩行者の危険性

徳重・名古屋芸大駅北側を東西にはしる、県道名古屋豊山稲沢線は、歩道整備が不十分で大型車の通行も多いため、自転車や歩行者にとってたいへん危険な状況となっています。

■公園や緑の不足

市内全域で、公園・緑地が不足していますが、特に鉄道周辺では配置が偏っています。

■災害時の危険性

昔ながらの市街地では、木造住宅が密集して立地しており、延焼拡大などの危険性が高まっています。また、道路が狭いと緊急車両の通行に支障が出る可能性があります。

どうやってまちの問題を解決するの？

まちの問題を解決する方法として、例えば以下の事業があります。

北名古屋市でどのような事業を、どのように行うかは今後地元の方々を中心に検討していきます。

■土地区画整理事業

土地区画整理事業は施行区域内を、面的に整備するまちづくり事業です。

減歩の手法により、新しい道路や公園などの用地を生み出し、不整形な土地を整形にします。

【解消される問題点】

- 都市機能の集積の遅れ
- 市街地における土地の低・未利用
- 賑わいの低下
- 駅の交通結節機能の不足
- 公園や緑の不足
- 災害時の危険性 など



整備事例：西春駅西土地区画整理事業

■市街地再開発事業

老朽化した木造建築物が密集している地区等において、再開発区域内に道路や公園など必要な基盤施設を整備しながら再開発ビルを建設し、公共施設などを整備するまちづくりの手法です。

【解消される問題点】

- 都市機能の集積の遅れ
- 市街地における土地の低・未利用
- 駅の交通結節機能の不足
- 賑わいの低下
- 公園や緑の不足
- 災害時の危険性 など



整備事例：名鉄三河線三河高浜駅

■連続立体交差事業

道路と鉄道との交差点において、鉄道を連続的に高架化することによって、鉄道により分断された市街地に一体化を促進する事業です。鉄道の高架化により、高架下に新たな空間が生まれます。

【解消される問題点】

- 踏切遮断による交通渋滞
- 自転車・歩行者の危険性
- 賑わいの低下
- 災害時の危険性
- など



整備事例：名鉄津島線藤浪駅付近

■その他

- ・道路整備事業
- ・公園・緑地整備事業
- ・用水・排水整備事業
- ・下水道事業 など

【解消される問題点】

- 自転車・歩行者の危険性
- 公園や緑の不足 など



※すべての事業を行うわけではありません。まちづくりに関する事業手法の例です。

北名古屋市を将来どんなまちにするの？

将来像

コンパクトで安全・安心、快適な市街地を形成して、駅を中心とした賑わいのあるまち

水と緑や文化・芸術の空間を充実させ、うるおいを身近に感じるまち

鉄道とその周辺の市街地や道路を再構築して、一体感のあるまち

テーマ

にぎわいとうるおいが溢れる快適で安全・安心なまちづくり

平成24年度「鉄道周辺まちづくり構想」より

